

巻頭言

光学研究と光産業……………石井勝弘

2023年日本の光学研究

横坂拓巳 / 寿景文 / リン・ユーチー / 岡嶋克典 / 玉作賢治 / 王立輝 / 八子基樹 / サミラン・バナ / 五十嵐淳 / 安彦修 / 趙越 / 石井美幸 / 石金元気 / 田中隆次 / 阪口淳史 / 藪野正裕 / 江川悟 / 吉田昌宏 / 渡邊敬介 / 富田健太郎 / 櫻井治之 / 大瀧達朗 / 清水新平 / 刘书缘 / 北原真穂 / L. ウェイ / 相馬豪 / 服部吉晃 / 米田成 / 皆川裕貴 / 飯田公平 / 河崎史子, 他

光学ハイライト

気になる論文コーナー

今後の特集予定

- 53巻 7号「プラズモニクスの基礎科学と新展開」
- 53巻 8号「分子・原子分解能をめざすナノプローブ分光」
- 53巻 9号「バーチャルリアリティと光学技術の融合」
- 53巻 10号「次世代の人工現実感を映し出す技術」
- 53巻 11号「バーチャルリアリティが切り開く視覚科学」

日本国内における新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に分類されて約1年が経過し、世界的脅威となった一連の騒動は落ち着きを見せている今日ですが、私たちの公衆衛生に対する意識は大きく変化してきました。ポストコロナ社会において深紫外放射技術は世界中で大きな注目を集めており、幅広い分野において現在社会実装が進みつつあります。

これまでの深紫外放射に関する特集では、殺菌効果やウイルス不活化に焦点があてられてきましたが、本特集では、それに加え、光源技術やその高効率化、光エレクトロデバイスのための透明電極、放射測定に関してなど広い観点から特集を組んでみました。私たち人間の眼では直接見ることができない深紫外放射ですが、そのポテンシャルは非常に高く、さまざまな分野での技術革新や応用拡大が期待されています。本特集の記事が、普段これらの技術に馴染みのない読者の皆様にとって、新しい興味や知識獲得の助けとなれば幸いです。また、本分野のさらなる学術的・産業的発展に繋がるきっかけとなることを願っております。

最後に、ご多忙にもかかわらず本特集へご寄稿いただいた執筆者の皆様、多くの助言をいただいた編集委員の皆様、丁寧に原稿を取りまとめていただいた編集局に深く感謝申し上げます。(田代, 下垣)

原著論文を募集しています

「光学」では、日本語の原著論文を募集しています。会員・非会員を問わず、自由に投稿できます。皆様の意欲的なご投稿をお待ちしております。

また、上記に加え、特集テーマに関連のある原著論文も募集しています。この場合、採択となった論文はその特集号に合わせて掲載できるよう、査読作業をより迅速化いたします。特集テーマ関連の投稿締切は、当該特集号発行月の4か月前の10日です。特集号を明記のうえご投稿ください。

日本光学会ホームページ <http://myOSJ.or.jp/>

光 学 2024 ©

第53巻 第5号 <月刊>

2024年5月10日 発行

定価 1,500円 (送料実費)

発行/ 一般社団法人 日本光学会

〒112-0002 東京都文京区小石川 2-23-11

常光ビル 7F 有限会社学術新報社内

E-mail: info@myOSJ.or.jp

印刷/ 大昭和印刷株式会社

「光 学」編集委員会

芦原 聡*	的場 修**	内田 美幸	江川麻里子
大平 倫裕	岡野 誉之	奥平 陽介	桶谷 亮介
角田 英俊	金 蓮花	黒坂 剛孝	小林 弘和
酒井 大輔	庄司 暁	瀬谷 安弘	田代 知範
豎 直也	玉田 洋介	張 開鋒	角井 泰之
中川 桂一	中山 雄太	日達 研一	藤井 瞬
藤井 宏昌	藤村佳代子	細木 藍	堀切 智之
堀崎 遼一†	水谷 康弘†	三宅 大助	本山 央人
安田 英紀	矢次 健一	和田 篤	

*委員長 **副委員長 †光科学及び光技術調査委員長

編集局 新沢佐和美

制作/ 有限会社学術新報社

電話 03-3816-3991 Fax 03-3816-3992

E-mail: kogaku@academic-j.co.jp